

前橋市産業実態等アンケート

調査ご協力のお願い

- 本調査は、前橋市が実施するアンケート調査です。
- 本調査から得られた情報は、本市の産業振興ビジョン策定のための情報として活用させていただくのみで、御社のご回答内容がそのまま外部に出ることはありません。ご多忙のこととは存じますが、今後の前橋市産業の発展のため、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **9月20日(金)** までに、投函して下さるよう、お願いいたします。

2019年（令和1年）9月

前橋市

ご記入にあたってのお願い

- 1 御社の経営実態等を理解されている方がご記入ください。
- 2 ご回答者が「支社・支店」「営業所」「本社とは別立地の工場」等の場合は、可能な範囲で「支社・支店」「営業所」「工場」単位の内容、お考えをお答えください。
- 3 ご記入に際しては「令和1年9月1日現在」を基準日としてください。
- 4 回答は、あてはまる番号を選び、その番号を○印で囲んでください。
- 5 「1つだけ」など回答が限られている質問では、御社がもっとも良くあてはまるとお考えになる回答を指定の数以内で選び、○印をつけてください。
- 6 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内に、なるべく具体的にその内容をご記入ください。

お問い合わせ先

●調査項目、記入方法に関するお問い合わせ

一般財団法人群馬経済研究所 伊勢・河村
TEL : 027-289-2322 (午前9:00～午後5:00 平日)

●調査項目、記入方法以外に関するお問い合わせ

前橋市 産業経済部 産業政策課 (午前9:00～午後5:00 平日)
TEL : 027-898-6983 FAX : 027-224-1188

問 1. 御社のことについておたずねします。

※支店・営業所等の場合は、可能な範囲で「支店・営業所等のデータ」でお答えください。

(1) 経営形態 (○は1つだけ)

1. 単独事業所	2. 本社	3. 支社・支店	4. 営業所	5. 工場
6. その他 ()				

(2) 営業エリア (複数拠点の場合はすべてに○)

1. 桃井	2. 中川	3. 敷島	4. 南部	5. 城東	6. 若宮
7. 天川	8. 岩神	9. 中央	10. 上川淵	11. 下川淵	12. 芳賀
13. 桂萱	14. 東	15. 元総社	16. 総社	17. 南橋	18. 清里
19. 永明	20. 城南	21. 大胡	22. 宮城	23. 粕川	24. 富士見
25. その他 ()					
26. 不明					

(3) 業種 (○は最も売上高が大きいもの1つだけ)

1. 農業, 林業	2. 漁業	3. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	4. 建設業	5. 製造業
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	7. 情報通信業	8. 運輸業, 郵便業	9. 卸売業, 小売業	
10. 金融業, 保険業	11. 不動産業, 物品賃貸業	12. 学術研究, 専門・技術サービス業		
13. 宿泊業, 飲食サービス業	14. 生活関連サービス業, 娯楽業	15. 教育・学習支援業		
16. 医療, 福祉	17. 複合サービス事業	18. サービス業 (他に分類されないもの)		
19. その他 ()				

(4) 所属している団体 (○はいくつでも)

1. 前橋商工会議所	2. 工業振興協会
3. 東部商工会・富士見商工会	4. 地元商店会
5. その他関連団体・組合 ()	

(5) 創業年 (西暦で数字をご記入ください)
(支社、工場等はその開業、稼働年)

西 暦	年
-----	---

(6) 資本金(元入金)等
(支社、工場等でも御社全体の金額)

万円

(7) 従業員の数 (あなた自身も含めて) と雇用形態の内訳 (数字をご記入ください)

従業員数	合計	人	⇒	内訳	正社員	人
	(うち女性は	人)			(うち女性は	人)
					パート・アルバイト・派遣	人
					(うち女性は	人)

(8) 昨年度一年間での採用者数 (数字をご記入ください)

採用者数	合計	人	⇒	内訳	男性	人 (うち新卒は	人)
	(うち新卒は	人)			女性	人 (うち新卒は	人)

(9) 経営者の年代 (○は1つだけ) ※実際に経営にたずさわっている人。支店等の場合は店長。

1. 30歳未満	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳代以上
----------	---------	---------	---------	---------	-----------

(10) 後継者について (○は1つだけ)

1. 事業主の親族を後継者にする予定	2. 親族以外の従業員を登用する予定
3. 社外から登用する予定	4. 第三者に事業を売却・譲渡する予定
5. 親族等に適当な人がいないため廃業する予定	
6. 後継者の有無に関らず、廃業する予定	
7. まだ、後継者を考える段階ではない	8. 支社・工場等のため関係ない
9. その他 ()	

問2. 御社の経営状況と取引先についておたずねします。

(1) 昨年度売上高について (○は1つだけ)

1. 売上なし	2. 1000万円未満
3. 1000万～3000万円未満	4. 3000万～5000万円未満
5. 5000万～1億円未満	6. 1億～3億円未満
7. 3億～5億円未満	8. 5億～10億円未満
9. 10～30億円未満	10. 30億円以上

(2) 3年前と比較した昨年度の売上高の増減について (○は1つだけ)

1. 30%以上の増加	2. 10%以上～30%未満の増加
3. 4%以上～10%未満の増加	4. 横ばい(増減幅4%未満)
5. 4%以上～10%未満の減少	6. 10%以上～30%未満の減少
7. 30%以上の減少	8. 分からない
9. 比較できない	

(3) 3年前と比較して昨年度の営業利益の増減について (○は1つだけ)

1. 30%以上の増加	2. 10%以上～30%未満の増加
3. 4%以上～10%未満の増加	4. 横ばい(増減幅4%未満)
5. 4%以上～10%未満の減少	6. 10%以上～30%未満の減少
7. 30%以上の減少	8. 分からない
9. 比較できない	

(4) 今後3年間を考えたとき、御社の景況はどのように推移してゆくと予想しますか (○は「業況」「売上高」「営業利益」について、それぞれ1つだけ)。

	選択肢
業況	1. 良くなる 2. やや良くなる 3. 変わらない 4. やや悪くなる 5. 悪くなる
売上高	1. 増加する 2. やや増加する 3. 変わらない 4. やや減少する 5. 減少する
営業利益	1. 増加する 2. やや増加する 3. 変わらない 4. やや減少する 5. 減少する

(5) 御社売上高の地域別割合をご記入ください (合計が100%になるようご記入ください)。

	地 域	売上高の割合[計100%]
A	前橋市内	%
B	前橋市を除く群馬県内	%
C	栃木県及び埼玉県	%
D	上記以外の関東圏 (東京、神奈川、千葉、茨城)	%
E	上記以外の国内に販売・納入	%
F	海外に販売・納入	%
G	ネット販売	%
H	その他 ()	%

問 3. 立地環境についておたずねします。

(1) 創業地は前橋市ですか(○は1つだけ、支社、工場等の場合は本社についてお答えください)。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) いつ頃の創業ですか(○は1つだけ、支社、工場等の場合は本社についてお答えください)。

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|------------|
| 1. 昭和30年代以前 | 2. 昭和40年代 | 3. 昭和50・60年代 | 4. 平成元年～9年 |
| 5. 平成10年～19年 | 6. 平成20年～24年 | 7. 平成25年以降 | 8. 不明 |

(3) 前橋市に立地するメリットはどのようなものですか(○はいくつでも)。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 交通の便が良く地理的にも便利 | 2. 取引先と距離が近い |
| 3. 人口密集地等、大規模市場が至近 | 4. 優秀な人材が確保しやすい |
| 5. 様々な可能性・多様性のある市場構造 | 6. 先端技術や情報に接する機会が多い |
| 7. 前橋市立地による企業イメージアップ | 8. 刺激が多くて活力がある |
| 9. グローバルな事業展開が可能 | 10. 自然災害が少ない |
| 11. 資金調達に有利 | 12. 人件費や地代等が安い |
| 13. 行政機関の支援等が充実している | 14. 重要な情報が入手しやすい |
| 15. 街並みが整備されていて魅力的 | 16. 経営者の自宅等が近い |
| 17. その他() | 18. 特にない |

(4) 前橋市に立地するデメリットはどのようなものですか(○はいくつでも)。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 建物・施設の賃貸借費用が高い | 2. 人件費が高い |
| 3. 人材が集まらない | 4. 企業間の連携等がしづらい |
| 5. 産業集積が不十分 | 6. 交通環境が悪くて事業に支障がある |
| 7. 環境の変化が激しく、対応が難しい | 8. マーケットの多様化・細分化 |
| 9. 競合相手が多い、競争が激しい | 10. 顧客・取引先から遠い |
| 11. 顧客の要望・ニーズが多様で高度 | 12. 顧客の固定化が難しい |
| 13. 通勤時間が長く、コストも高い | 14. 東京へのアクセスが悪い |
| 15. 地域住民等との接点が少ない、地縁性が低い | 16. 地元金融機関からの資金調達が難しい |
| 17. 行政機関の支援等が充実していない | 18. 重要な情報が入手しにくい |
| 19. 街並みの整備が遅れ、魅力に乏しい | 20. その他() |
| 21. 特にない | |

(5) 御社では前橋市外への事業所移転の可能性はありますか(○は1つだけ)。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 可能性はない | 2. 可能性はあるが、具体的な検討はしていない |
| 3. ある程度具体的に移転を検討中 | 4. かなり具体的に移転を検討中 |

問 4. 採用状況や雇用環境についておたずねします。

(1) 御社の正社員の採用状況はいかがですか(○は1つだけ)。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 順調である | 2. まあ順調である | 5. 採用していない |
| 3. 余り順調でない | 4. 順調でない | |

(2) [(1) で3か4と回答した方] どのような対応を取っていますか (○はいくつでも)。

1. 派遣労働者の受け入れ	2. アルバイト・パート社員の採用
3. 嘱託社員の採用	4. 人材採用支援会社等への相談
5. 外国人技能実習生等の受け入れ	6. 業務の見直し・省力化投資を実施
7. その他 ()	8. 特に何もしていない

(3) 御社で不足している人材はどのような方ですか (○はいくつでも)。

【階層】	1. 若年者 (35歳未満)	2. 中堅	3. ベテラン
【役職】	1. 一般社員	2. 管理職 (候補)	3. 経営幹部 (候補)
【求める能力等】	1. 技術力	2. 営業力	3. 語学力
	4. 財務・会計知識	5. 一般的マナー	6. バイタリティー
	7. 忍耐力	8. 統率力	9. 社会経験
	10. 長期間勤務可能	11. その他 ()	

(4) 御社の募集人材へのアプローチの手段は主に何ですか (○はいくつでも)。

1. ハローワーク	2. 就職WEBサイトへの掲載
3. 就職情報誌や新聞・雑誌広告	4. 役員・従業員等からの紹介
5. 高校・大学等からの紹介	6. 人材紹介会社
7. 自社WEBサイトによる募集・告知	8. 就職説明会等への参加・出店
9. 商工会議所等からの紹介	10. その他 ()

(5) 御社の人材確保の課題は何ですか (○はいくつでも)。

1. 自社の知名度不足	2. 報酬などの条件のミスマッチ
3. 業界の負のイメージ (3K職場等)	4. 求職者の大企業思考・安定志向
5. 高校・大学等の就職部署との連携	6. 採用者の定着率の低さ
7. 採用ノウハウの不足	8. サイト掲載費用等、採用費用の負担
9. インターンシップの実施負担	10. 特に課題はない
11. その他 ()	

(6) 過去3年間に、若年者 (35歳未満) を採用した実績がありますか (○は1つだけ、採用実績があればカッコ内に採用人数をご記入ください)。

【新卒採用】	1. 採用した (合計 名)	2. 採用していない
【中途採用】	1. 採用した (合計 名)	2. 採用していない

(7) 若年者 (35歳未満) の採用に関する現在の御社の状況はいかがですか (○は1つだけ)。

1. ニーズに相応しいレベルの人材を予定通りの人数で採用できている	
2. 予定したレベルの人材は確保できたが、予定人数を確保することは難しい	
3. 予定人数は確保できたが、予定したレベルの人材を確保することは難しい	
4. 人数・レベルともに確保することが難しい	
5. 採用ニーズはない	6. その他 ()

(8) 御社が把握している、若年者 (35歳未満) の退職理由を教えてください (○はいくつでも)。

1. 一身上の都合 (詳細不明)	2. 待遇 (給与、福利厚生等) の不満
3. 人間関係・職場環境が悪い	4. やりがい・成長感を感じない
5. 仕事内容が自分に合わない	6. 他にやりたいことができた
7. 業界・企業の将来性への不安	8. 体調をこわした
9. 介護のため	10. 結婚のため
11. その他の家庭の事情	12. その他 ()

- (9) 若年者（35歳未満）の入社3年後のおおよその定着状況を教えてください（カッコ内に数字をご記入ください）。

3年以内に退社	%	+	3年後も勤務	%	=	100%
---------	---	---	--------	---	---	------

- (10) 御社の管理職従業員の男女割合を教えてください（カッコ内に数字をご記入ください）。

男性管理職	%	+	女性管理職	%	=	100%
-------	---	---	-------	---	---	------

- (11) 御社では、女性の活躍推進のためにどのような対策を講じていますか（〇はいくつでも）。

1. 女性のキャリアアップ教育	2. 短時間勤務などの勤務時間への配慮
3. テレワークの導入	4. イクメン・イクボス ^{注1} 養成
5. 女性再雇用制度の導入	6. 業務内容の工夫
7. 男性向け啓発研修等の充実	8. 就業環境（ハード面含む）の改善
9. 従業員全般への意識改革活動	10. その他（ ）
11. 特に対策していない	

注1：イクメンとは「子育てに積極的に関わる男性のこと」を、イクボスとは「男性の従業員や部下の育児参加に理解のある経営者や上司のこと」を意味します。

- (12) 御社はワーク・ライフ・バランスが進んでいると思いますか（〇は1つだけ）。
 ※ ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活の調和。様々な状況に応じて多様な働き方や生き方を選択できること。

1. 進んでいる	2. ある程度進んでいる
3. あまり進んでいない	4. 進んでいない

- (13) [(12)で「3」か「4」と回答した方に] その理由は何ですか（〇はいくつでも）。

1. 従業員の平均勤続年数が短い	2. 従業員のスキル・能力不足
3. 女性社員の意識が低い	4. 男性社員の意識が低い
5. 性別役割分業意識が強い	6. モデルとなる社員がいない
7. 経営陣の意識が低い	8. 管理職の意識が低い
9. 旧態依然の慣習や企業風土	10. 長時間労働の慢性化
11. 多様な働き方のメニューがない	12. 育児・介護支援制度が不十分である
13. 仕事と育児・介護の両立の為に個人的な努力が足りない	14. その他（ ）

- (14) ワーク・ライフ・バランスに取り組む上でどのような課題がありますか（〇はいくつでも）。

1. 働き方についての社会の意識変化	2. 従業員の仕事や生活スタイルの変化
3. 会社同士の競争環境の改善	4. 会社の経営者等の意識改革
5. 会社の労働条件の改善	6. 長時間労働の改善
7. 多様な働き方メニューの充実	8. 託児施設の整備など費用負担
9. 社会保障制度等の充実	10. 取組み企業に対する各種支援
11. 取り組む余裕がない	12. その他（ ）
13. 特に課題はない	

(15) 御社では、高齢者雇用のためにどのような対策を講じていますか (○はいくつでも)。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 定年年齢の引き上げを行った | 2. 勤務延長制度 ^{注1} を導入している |
| 3. 再雇用制度 ^{注2} を導入している | 4. その他 () |
| 5. 特に対策していない | |

注1：定年年齢に達した者を退職させることなく引き続き一定期間雇用する制度

注2：定年年齢に達した者をいったん退職させた後、再び雇用する制度

(16) 御社では、障害者雇用のためにどのような対策を講じていますか (○はいくつでも)。

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 短時間勤務など勤務時間への配慮 | 2. 通院・服薬管理など医療上の配慮 |
| 3. 教育、研修の充実 | 4. 就業環境 (ハード面含む) の改善 |
| 5. OJT ^{注1} 、トライアル雇用 ^{注2} の拡充 | 6. 業務内容への配慮 |
| 7. 職場適応援助者の活用 | 8. 相談窓口の拡充 |
| 9. 各種助成金の活用 | 10. 外部関係機関との連携支援体制確立 |
| 11. 他の従業員の意識啓発 | 12. その他 () |
| 13. 特に対策していない | |

注1：日常の業務につきながら行う職場内訓練

注2：短期、試行的な雇用

問5. 資金調達等についておたずねします。

(1) 資金調達の際の調達先は、どのような機関ですか (○はいくつでも)。

- | | | | |
|------------|------------|----------|----------|
| 1. 都市銀行 | 2. 地方銀行 | 3. 信金・信組 | 4. 親会社等の |
| 5. 政府系金融機関 | 6. その他 () | 7. 特に無い | 関連会社 |

(2) 制度融資や補助金など、公的機関が提供する資金調達の支援制度を利用したことがありますか (○は1つだけ)。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことは無い → 設問(4)へ |
|--------------|-----------------------|

(3) [(2)で「1」と回答した方] その理由は何ですか (○は1つだけ)。

- | | | | |
|---------------|------------|------------|-------------|
| 1. 金利が低い | 2. 保証料が安い | 3. 手続きが簡単 | 4. 審査が通りやすい |
| 5. 金融機関に勧められた | 6. その他 () | 7. 特に理由はない | |

(4) [(2)で「2」と回答した方] その理由は何ですか (○は1つだけ)。

- | | | | |
|---------------|------------|------------|-----------|
| 1. 制度を知らなかった | 2. 金利が高い | 3. 保証料が高い | 4. 手続きが煩雑 |
| 5. 通常の資金調達で十分 | 6. その他 () | 7. 特に理由はない | |

問6. 事業活動における問題と展望等についておたずねします。

(1) 現在、経営上抱えている問題や課題はどのようなことですか(○はいくつでも)。

1. 一般従業員の確保	2. 特定専門技術を有する人材不足
3. 人材育成に関する組織的制度が無い	4. 総費用に占める人件費割合の上昇
5. 後継者の確保(事業承継等)	6. 従業員の高齢化
7. 受注量・取引量・売上高の減少	8. 従業員のモチベーション
9. 高度化する顧客ニーズへの対応	10. 競合他社等との競争環境の激化
11. 顧客や取引先に生じた変化の影響	12. 顧客や取引先の確保・拡大
13. 新規事業のための資金調達	14. 為替相場の影響
15. 運転資金の確保	16. 原材料高騰等による収益率の悪化
17. 情報化社会への設備対応の遅れ	18. 設備資金の確保
19. 投資家との出会いの場の不足	20. 借入金の返済に苦慮
21. 地価、地代、賃料が高い	22. 金融機関と十分な交渉ができない
23. 駐車場が確保できない	24. 営業上の規制が厳しい
25. 産業支援施策や支援制度の情報不足	26. 新技術・市場動向等の情報不足
27. 困ったときの相談相手不足	28. 課題を考える余裕がない
29. その他()	30. 特に課題はない

(2) 今後5年程度を展望して重点的に取り組みたいことは何ですか(○はいくつでも)。

1. 従業員の確保・育成	2. 経営幹部人材の確保・育成
3. 専門人材の確保・育成	4. 事業承継(後継者育成・M&A等)
5. 従業員の雇用環境の整備	6. 施設や設備のリニューアル
7. 事業所等の規模拡大・移転	8. 販路開拓・拡大
9. グローバル化への対応	10. 新分野・新事業への進出
11. 新製品・新技術の開発	12. 既存製品の高付加価値化
13. 自社ブランドの育成・強化	14. 製品・サービスの多様化
15. 製品・サービスの専門化	16. 品質・接客技術等の向上
17. 取引先企業との協力・連携の推進	18. 他企業との協力・連携の推進
19. 大学等研究開発機関との連携	20. ICT化等推進による業務の合理化
21. ビッグデータ・AI等の活用	22. 働き方改革の実施
23. 知的財産対策	24. 規模縮小や業務等のリストラ
25. 業種転換	26. 廃業・休業
27. その他()	28. 特に無い

問7. ICT化、産業連携等への対応についておたずねします。

(1) 下記の各事業課題等について、それぞれ現在の取組経験(1)-1、今後の取組意向(1)-2をお答えください。

	(1)-1 現在の取組経験			(1)-2 今後の取組意向		
	している	していない		高い	普通	高くない
例) 事業課題等	①	2	→	1	②	3
1) ICTを活用した販路開拓	1	2	→	1	2	3
2) ICTを活用した業務改善・改革	1	2	→	1	2	3

例) 事業課題等	現在の取組経験			今後の取組意向		
	して いる	して いない		高い	普通	高く ない
3) ICTを活用した宣伝PR	1	2	→	1	2	3
4) 産学連携による研究開発	1	2	→	1	2	3
5) 産学連携による事業化推進	1	2	→	1	2	3
6) 観光関連事業・ビジネスの推進	1	2	→	1	2	3
7) 地域資源を活用した事業・ビジネス展開	1	2	→	1	2	3
8) 地域内の同業種企業による連携	1	2	→	1	2	3
9) 地域内外の異業種企業による連携	1	2	→	1	2	3
10) 若手従業員向け人材育成・能力開発	1	2	→	1	2	3
11) 中堅従業員向け人材育成・能力開発	1	2	→	1	2	3
12) テレワーク等、働き方の見直し	1	2	→	1	2	3
13) 事業承継の推進	1	2	→	1	2	3
14) 製品等のデザイン力の向上	1	2	→	1	2	3
15) 環境・エネルギー分野の事業推進	1	2	→	1	2	3
16) ロボット、IoT、AIの活用	1	2	→	1	2	3
17) キャッシュレス決済の促進	1	2	→	1	2	3

※「IoT」とは、モノのインターネット（Internet of Things）の略語で、様々な「モノ（物）」が相互にインターネットに接続されること。「AI」とは、コンピュータに人間と同様の知能を実現させようという基礎技術を指します。

(2) 『今後の取組意向』が高い事業課題について、どのような取組みを予定していますか。

(取組意向の高い事業課題) 例：テレワーク	(左記「事業課題」に対する取組の具体的な内容) 例：テレワーク導入システム構築費用の見積もりを依頼する予定
[] →	
[] →	

問8. 前橋市の産業施策等についておたずねします。

(1) 今後、前橋市に対してどのような支援を望みますか (〇はいくつでも)。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 人材確保支援 | 2. 人材育成支援 |
| 3. 交流・連携支援 | 4. 技術・製品開発支援 |
| 5. 市場開拓・マーケティング支援 | 6. 融資等資金対策 |
| 7. 経営相談 | 8. 創業支援 |
| 9. 従業員の福利厚生支援 | 10. ICT・生産性向上関連の支援 |
| 11. 省エネルギー化支援 | 12. 宣伝PR支援 |
| 13. ワーク・ライフ・バランス推進支援 | 14. 企業誘致の促進 (工業団地開発等) |
| 15. 中心市街地の活性化 | 16. 海外展開の支援 |
| 17. その他 () | 18. 特に要望はない |

(2) 「前橋市産業振興ビジョン」を知っていますか(○は1つだけ)。

- | | | | |
|------------|-----------|---------------|---------|
| 1. 詳細までわかる | 2. 概要がわかる | 3. 名を聞いたことはある | 4. 知らない |
|------------|-----------|---------------|---------|

(3) 前橋市の「産業サポートガイド」を見たことがありますか(○は1つだけ)。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 掲載されたサポートの利用実績あり | 2. 冊子(WE Bサイト)を見たことがある |
| 3. 名前を聞いたことはある | 4. 初めて聞いた |

(4) [(3)で「1」と回答した方] 利用した制度名とその評価に○をつけてください(○はそれぞれ1つだけ)。また、その理由があればご記入ください。

利用した制度	左記「利用した制度」の評価	その理由
例: I T化推進補助金	①. 良い 2. 普通 3. 悪い	(例: 思いのほか補助率が高かった)
[] →	1. 良い 2. 普通 3. 悪い	()
[] →	1. 良い 2. 普通 3. 悪い	()

(5) 「前橋市企業ガイドブック」を見たことがありますか(○は1つだけ)。

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 自社情報の掲載経験あり | 2. 冊子(WE Bサイト)を見たことがある |
| 3. 名前を聞いたことはある | 4. 初めて聞いた |

(6) 前橋市の産業施策等についてご意見をお聞かせください。

* 本アンケートについて、前橋市産業経済部または群馬経済研究所からご連絡を差し上げてもよろしいでしょうか。よろしければ、ご連絡先をご記入ください。

住所	
事業所名	担当者名
連絡先電話番号、F a x 番号、Eメールアドレス、等	

ご協力ありがとうございました。